



1. 躯体壁芯は、特記なき限り壁厚の中央とする。
2. 軽鉄間仕切りの壁芯は、特記なき限り軽鉄下地の中央とする。壁種別は平面図による。
3. 屋内の床レベルは特記なき場合FL±0とする。
4. 外部コンクリートの増打部は、特記なき限り20mmとする。
5. 外部に面する躯体壁内側には特記なき場合、断熱材Cを見込む。
6. 鉄骨柱・梁は特記なき場合、断熱材Bを見込む。

F-1 内部仕上詳細番号を示す。(部分詳細図(9))
LGS-F 軽量鉄骨耐火間仕切壁を示す。[D-401]スラブ下まで
LGS-F片 軽量鉄骨耐火間仕切壁(片面)を示す。[D-402]スラブ下まで
LGS片 軽量鉄骨間仕切壁(片面)を示す。(LGS65型+GB-R t=12.5+12.5)
LGS片 特記なき間仕切壁は軽量鉄骨間仕切壁を示す。(LGS65型+GB-R t=12.5+12.5(両面))

特徳岡設計
TORIYOKA DESIGN LTD.

作成 年 月 日 管理技術者 徳岡 浩二
発行 年 月 日 総合主任技術者 角田 丸山

工事名称 (仮称) 子ども包括支援センター建築工事
図面名称 2階平面詳細図

図面 NO. A-35
図面 NO. A-81
1: 50 (A1)
1: 100 (A3)